

令和8年度「全国学力・学習状況調査」結果についてのお知らせ

甲斐市立双葉中学校

■この調査は・・・

義務教育の機会均等とその水準の向上のために、児童生徒の学力や学習の状況を把握・分析して教育施策の改善を図るとともに、一人ひとりの児童生徒の学習の課題を把握して指導改善につなげるために実施しました。本校の子どもたちの課題について共通理解を図り、学校・家庭・地域が一体となって学力・学習状況の改善に取り組めるよう、結果の概要をお伝えします。

■調査の結果は・・・

対象が小6と中3、教科も国語／算数・数学に限られています。したがってここに示す結果は児童生徒の「学力の特定の一部分」であることをご理解ください。（英語・理科は、3年に1度の調査となります。）

1 調査結果について

■学力調査結果からみえる本校の子どもたちの姿

- ・国語の平均正答率は全国とほぼ同程度であり、一定の定着がみられます。特に「話すこと・聞くこと」については高い定着があり、日頃からの継続した取組の成果がみられます。一方で「読むこと」についてはその言葉が表している具体的な様子や効果を捉えることに課題がみられます。
- ・数学の平均正答率は全国平均よりもやや低く、課題がみられます。特に、関数分野において2数の関係を表す表の特徴を適切に捉える力が弱い傾向にあります。一方で、「数と式」や「データの活用」の基礎的な知識を問う問題では全国とほぼ同程度であり、日頃からの継続した取組の成果がみられます。
- ・英語の平均正答率は全国平均よりもやや低く、一定の定着と課題がみられます。特に「聞くこと」については、基礎的なリスニングの土台が形成されていると捉えることができます。一方で「読むこと・書くこと」については、特に文章を読み取って自分の言葉で表現する記述式問題において定着度の低さがみられます。

■質問紙調査からみえる本校の子どもたちの姿

- ・よい傾向がみとめられる項目
「先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」について高い数値を示しています。
- ・課題となる項目
「学校の授業以外に普段勉強する時間は30分以上、1時間より少ない」「学校が休みの日に1日当たり勉強する時間は1時間より少ない」とした生徒の割合が高く、学習時間の確保に課題があります。
「新聞をほぼ毎日読んでいる、週に1～3回程度読んでいる」とした生徒の割合が低い傾向にあります。

2 これからの取組について

■学校で取り組んでいくこと

- ・「よいところを認める」「人の役に立つことをする」「いじめを許さない」など道徳の授業を中心に、教育活動全体でさらに取り組んでいきます。
- ・言語活動の充実を図り、自分の考えや思いを伝え合う場面や自身の考えを記述する場면을授業に多く取り入れ、考える力や表現する力を育てます。
- ・国語の学習では、言葉に着目させて、一般的な意味ではなく文章中でどのような意味をもつのかやその言葉の文章中の効果について考える活動を多く取り入れます。
- ・数学の学習では、関数における「表・式・グラフ」を相互に関連させる問題に定期的に取り組み、関数の本質を理解できるようにしていきます。
- ・外国語の学習では、単なる語彙・表現の暗記にとどまることなく、自分の気持ちや考えをまとまりのある文章で表現する学習活動を継続・強化します。

■家庭において取り組んでいただきたいこと

- ・これからも、「毎日朝食を食べる」「毎日同じくらいの時間に寝起きする」等、規則正しいリズムで生活できるような環境づくりをお願いします。
- ・子どもたちが自ら学習に取り組めるよう声をかけてあげてください。
- ・ゲームやテレビ、スマートフォン等を使う時間やルールを決めて守るように声をかけてあげてください。
- ・新聞やニュース等を見て、家庭で話をするなど、社会に関心をもてるような環境づくりをお願いします。